

# TOMASEI フットボールフィールド天然芝グラウンド改修に係る業務委託 特記仕様書

## 第1章 総則

### 1. 業務名

TOMASEI フットボールフィールド天然芝グラウンド改修に係る業務委託

### 2. 履行場所

北海道苫小牧市清水町3丁目3-26 (TOMASEI フットボールフィールド)

### 3. 履行期間

契約締結日の翌日から 令和9年1月31日 まで

### 4. 業務の目的

本施設は開設から約30年が経過し、フィールド内の芝生において、既存散水設備の能力不足による管理困難、ピッチ面の不陸（凸凹）による競技機能の低下、経年劣化による生育不良等の課題が顕在化している。

本業務は、これらの課題を解消し、良好なフィールド環境を構築するため、天然芝ピッチの改修及び散水設備の更新・改修に必要な詳細設計図書を作成することを目的とする。

## 第2章 業務内容

### 5. 設計条件の整理

受注者は、業務着手にあたり、以下の事項について発注者と協議し、設計条件を整理すること。

- (1) 関連法規及び最新の技術基準（JFA 施設基準等）
- (2) 既施設の現況（既存図面が存在しないため、現地確認を重視すること）
- (3) 別途実施される「測量・地質調査業務」の成果データの活用
- (4) 寒冷地（苫小牧市）における気象条件、凍結深度等を考慮した設計方針
- (5) 指定管理者へのヒアリング及び要望の反映

本施設の指定管理者に対し、日常の維持管理（芝刈り、散水、施肥、冬期養生等）における課題や要望についてヒアリングを行い、作業効率や操作性を考慮した設計となるよう努めること。

### 6. 現地調査

受注者は、設計に必要な以下の調査を実施すること。

- (1) 既設芝生・土壌調査：現在の芝の生育状況、土壌の硬度、透水性等を調査し、課題を抽出すること。

(2) 既設散水設備調査：ポンプ室、制御盤、散水ヘッド等の現況を目視及び動作確認により把握すること。

※別途、専門的な機能診断調査がある場合はその結果を参照するが、ない場合は本業務において設計に必要な範囲で調査を行うこと。

### (3) 現地調査の実施時期

本施設は業務期間中も供用中であり、大会、合宿、芝生メンテナンス等が予定されている。そのため、現地調査に伴うフィールド内への立ち入り時期及び時間帯については、事前に発注者及び指定管理者と綿密な協議を行い、施設利用に支障をきたさないよう調整すること。

## 7. 詳細設計

現地調査、測量成果、及び指定管理者へのヒアリング結果に基づき、以下の設計を行うこと。

### (1) 散水設備改修設計

既設散水設備（受水槽、ポンプ、配管等）については、コスト縮減の観点から、詳細な機能診断及び能力確認を行い、可能な限り有効活用（再利用）することを基本方針として検討すること。

ただし、診断の結果、著しい老朽化、耐圧性能不足、または容量不足等が確認され、将来的な維持管理に支障をきたすと判断される場合に限り、必要最小限の範囲での更新（新設）または増設を提案すること。

特に、既設散水設備の能力不足が指摘されていることから、既存水源（井戸）の揚水能力及び貯水タンクの容量を調査・検討し、必要に応じて新たな貯水タンクの設置やポンプの増強・更新を含めた最適なシステムを提案すること。

ピッチ全体に均一かつ十分な散水が可能となるよう、最適な散水方式（スプリンクラー配置、ヘッド仕様）を選定すること。

水理計算を行い、必要な水量・水圧を確保できるポンプ能力及び配管口径を決定すること。

制御盤の更新、凍結防止対策（水抜き構造など）について検討すること。なお、制御盤の操作性やバルブ位置については、管理者が操作しやすい仕様とすること。

### (2) 天然芝更新（張替）設計

苫小牧市の気候に適した芝生品種（寒地型芝草等）を選定すること。

工法については、早期の供用開始及び品質確保の観点から「ビッグロール工法」を基本として検討し、コスト、工期、維持管理性等を総合的に判断して最適な工法を選定すること。

現地調査結果に基づき、床土（土壌）の改良または入替について検討し、透水性・保水性のバランスが取れた基盤構造を設計すること。

表面排水勾配及び暗渠排水との連携を考慮し、不陸のない平坦なピッチ面を設計すること。

## 8. 設計図書の作成

詳細設計に基づき、工事発注に必要な以下の図書を作成すること。

- (1) 設計図面（配置図、撤去図、平面図、縦横断図、詳細図、配管図、設備図等）
- (2) 数量計算書
- (3) 工事費積算内訳書（概算工事費の算出）
- (4) 工事仕様書

※次年度の工事予算要求の基礎資料とするため、上記のうち「概算工事費」については、先行して令和8年10月末日までに算出し、発注者に報告すること。

## 9. 工事工程の検討

工事の実施にあたり、以下の点を考慮した工程表を作成すること。

- (1) 芝生の播種または張芝後の「養生期間（根付くまでの期間）」を十分に確保すること。
- (2) 苫小牧市の気候特性（降雪、積雪、凍結）を考慮し、施工可能な時期を選定すること。
- (3) 施設利用休止期間を最小限に留める工夫を行うこと。

## 第3章 成果品及びその他

### 10. 成果品の提出

- (1) 設計報告書（調査結果、検討過程、打合せ記録等）：3部
- (2) 設計図面（A3版 製本）：3部
- (3) 設計計算書（数量、積算、水理計算等）：3部
- (4) 電子データ一式（CD-R等）：1式
- (5) 中間成果品（概算工事費算出書）：1部 ※令和8年10月末日までに提出すること。

### 11. 打合せ及び照査

- (1) 業務期間中、着手・中間・完了時に発注者と協議を行うこと。計3回を予定する。  
なお、打合せには必要に応じて本施設の指定管理者の同席を求め、維持管理上の実務的な意見を聴取・反映する機会を設けること。
- (2) 受注者は、管理技術者とは別に照査技術者を配置し、成果品の品質確保に努めること。